



夢をかたちに
MAKE DREAMS REAL

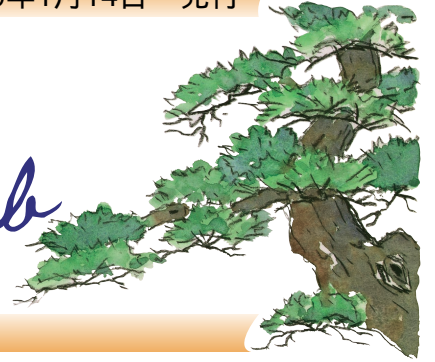
2008～2009年度国際ロータリーのテーマ

No.24

2009年1月14日 発行

高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



「平成20年度 新世代会議」開催

平成20年12月23日（火・祝）於：高砂市青年の家（体育室）



新世代会議
・新世代の主張・



本誌は、職場や家庭に持ち帰って、皆様と一緒に読み下さい。

2008年 新世代の主張プログラム

1. 実施日 2008年12月23日(火・祝)
2. 場所 高砂市青年の家(体育室)
3. 発表者

高砂高校	2年	鈴木 美樹	フィリピンでの7日間
高砂南高校	1年	松本 千裕	中学生の時の私
神戸市外大	3年	王 彩 麗	中国と日本の教育事情
松陽高校	2年	上杉 友貴	私たちの『あたりまえ』
白陵高校	1年	松永 博之	「生徒会に入って」
4. 来 賓

登 幸人	(高砂市長)
佃 昌典	(高砂市教育長)
國分 光雄	(高砂市青少年健全育成連絡協議会会長)
廣瀬 友良	(高砂高校校長)
黒田 兼生	(高砂南高校校長)
瀬戸川 孝	(松陽高校校長)
吉田 卓	(白陵高校校長) (敬称略)
5. 日 程

受付開始	13:00
開 会	13:30
開会の挨拶	13:35 (高砂青松ロータリークラブ会長)
市長挨拶	13:40 (高砂市長)
来賓紹介	13:45
新世代の主張 及び意見交換	13:50 (意見発表と参会者の質疑や助言)
講 評	15:10 (高砂市教育長)
閉会の挨拶	15:20 (高砂ロータリークラブ会長)
閉 会	15:30
6. 主 催 高砂ロータリークラブ
高砂青松ロータリークラブ
7. 共 催 高砂市・高砂市教育委員会
高砂市青少年健全育成連絡協議会





Donation ニコニコ報告

高砂R.C. 坂牛 八州

青松R.C.の鹿間会長様，鹿間委員長様がたには大変お世話になります。

高砂R.C. 守光 隆

青松R.C.の皆様，新世代委員会の皆様，本日はお世話になります。

鹿間 行雄・岡本 崇司・大橋 卓司
大森 千里・嶋谷 拓雄・佐野 栄作
都倉 達殊・増田耕太郎・竹原 俊三
亀本 泰司・田水 敬雄

新世代会議開催を祝して。

志方 正昭

王彩麗さん，お話楽しみにしています。
本日は御苦労様です。



Secretary 幹事報告

第23回 通算1387回

1. 回覧その他

財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団より40周年記念の集いのご案内が届いております。

平成21年1月17日(土) 14時より
神戸ベイシェラトンにて

プログラム予定

1月7日(水)	1月14日(水)	1月17日(土)	1月28日(水)
休会 【定款第6条第1節(c)による】	卓話 増田耕太郎 会員	新年家族例会 於:ウェディングパレス 鹿島殿 【親睦委員会担当】	【ロータリー情報委員会 担当】

例会記録 2008. 12. 23 (火) 通算1463回

来訪ロータリ 井本雅也様(高砂R.C.) 中野哲郎様(高砂R.C.)
アン報告 片岡正様(高砂R.C.) 作田慎治様(高砂R.C.)
 山名克典様(高砂R.C.)

出席報告 12月10日 会員数 52名 欠席者 6名 出席率 87.23% <修正による>
 (この内出席免除者10名)
 12月23日 会員数 52名 欠席者 26名 出席率 39.53%
 (この内出席免除者10名)

播磨ゆかりの偉人伝 ②3

浦山 桐郎 (うらやま・きりお) 「女優育ての名手」の監督

吉永小百合, 大竹しのぶ, 和泉雅子…。彼女らはまさしく映画監督・浦山桐郎の手によって育て上げられた。浦山が「女優育ての名手」といわれたのも当然だろう。新人女優を徹底的に鍛えて迫真の演技を導いた。

昭和29(1954)年, 助監督として日活に入社, 今村昌平門下となった。監督デビューはそれから8年後の昭和37年。作品は, 吉永小百合を国民的スターに育てるきっかけとなる「キューポラのある街」だった。鋳物の街に暮らす貧しい若者の姿を描いたこの映画は高い評価を受け, 日本映画監督協会新人賞, キネマ旬報ベストテン2位に輝いた。



2作目は翌38年, 和泉雅子主演の「非行少女」。これはモスクワ国際映画祭の金賞を受賞した。五木寛之原作の「青春の門」のオーディションでは新人の大竹しのぶを見い出して主演に抜擢, ヒット作品とした。若者の直面する社会や人生の問題を直視し, 名監督の道をまっしぐらに進んだ。

昭和5(1930)年, 相生市に生まれた。父・貢は播磨造船(現石川島播磨重工業)に勤めるかたわら, 歌人として有名で相生市歌の作詞者となっている。母・豊子は浦山が生まれて13日後に死亡した。浦山の「育ての親」となったのは, 母・豊子の妹である敏子。昔はよくあるケースである。

悲劇が起きたのは, 浦山18歳の時だった。父・貢が近所のがけ山から飛び降り自殺したのである。原因は不明。姫路中(現姫路西高)から旧姫路高校に通っていたが, 父の死亡で敏子の親類のいる名古屋に引っ越し, 名古屋大学文学部に入学した。

相生を離れても故郷への哀愁は断ちがたく, 相生湾を「母親の子宮のように見える」と, よく話したという。周囲と妥協しなかった浦山は23年間でたった9本しか映画を作っていない。最後の作品は昭和60年, 吉永小百合主演の「夢千代日記」。その年の10月, 急性心不全のため急死した。54歳の若さだった。

(主な参考文献=神戸新聞社・編「播磨ゆかりの50人」神戸新聞総合出版センター)

会長 鹿間行雄 幹事 岡本崇司 クラブ会報委員長 菊地敬子

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500(代)